

○ 明 石 功 (30分)

【一括方式】

1 日野・椎木地区の浸水対策について

- 現在の進捗と市が実施している内水対策の今後の予定について
- 日野川改修工事完了、雨水の分水工事、椎木調整池のポンプ設置等完了時には日野・椎木地区の浸水被害、または道路の冠水は解消されるのでしょうか。

2 急傾斜地に関する取り組みについて

- 土砂災害に関するソフト対策の取り組みについて
- 急傾斜地の工事とあわせて道路を広げるような効率的な防災対策に関する取り組みについて
- 急傾斜施設の老朽化対策に関する市の取り組みについて

3 水道行政について

- 水道局庁舎の建てかえについて

4 てんかん疾病について

- てんかん疾患に対して本市の認識と今後の取り組みについて
- 学校におけるてんかん疾病への啓発活動について
- 高齢者てんかんについて

○ 小野原 茂

(30分)

【一括方式】

1 石木ダム建設促進について

- 佐世保市の既存ダムの実態及び今後の市政推進における石木ダムの役割について
- 石木ダム建設促進に向けた広報活動について

2 日本遺産を活用した観光振興について

- 平成28年に認定を受けた本市の二つの日本遺産の活用状況について
- 取り組みを通じた課題について
- 今後の活用推進について（立神音楽堂、SSKなど官民連携、佐世保鎮守府130年など）

○ 崎 山 信 幸 (15分)

【一括方式】

- 1 これからの人口減少局面における、それぞれの分野の人手不足対策について
- 国立社会保障・人口問題研究所において、2045年の佐世保市の人口は202,094人、長崎県全体では、982,200人との人口減少に対する厳しい予想がなされた。

介護・農業・建設・造船・宿泊（ホテル）等それぞれの分野でのさらなる人手不足が予想されるが、本市としても危機感を持ち、しっかりとした対策が必要ではないか。

現段階における考えをお尋ねいたします。

○ 林 健 二 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 玄海原子力発電所にかかわる避難対策について

本市には原発からの位置が30km圏内に江迎町、吉井町、世知原町の一部が含まれ、対象住民は10,037人（平成30年5月1日現在）が居住しています。地域防災計画に基づく住民の避難に対する不安の解消はエネルギー政策を主導する国の関係機関等並びに事業者である九州電力株式会社に対する働きかけを含め、長崎県とともに強く要請する必要があります。次の点について伺います。

- 佐世保市の避難計画における避難の際の問題点について
- 原子力災害対策に関する国への要望内容について

2 防災行政無線について

アナログ電波の使用期限は無線設備規則の改正に伴い、平成34年11月30日までにデジタル式に更新しなければならない。佐世保市では旧市域にデジタル式防災行政無線（60MHz帯）を整備し、本格運行を開始したが、アナログ式防災行政無線が残る北部エリア地域を初め、遠くない時期に到来する旧市域の整備済みデジタル同報系防災行政無線の更新整備も踏まえ、今後の整備計画の考え方及び進め方について、次の点を伺います。

- 北部エリア及び宇久地域の支所放送及び旧市域を含めた町内放送について
- 旧合併6町から存続要望があっている戸別受信機の課題とあわせて、全市域での難聴地域対策の基本的な進め方について
- 制限ある財源の確保と新たな情報伝達システムの積極的な活用検討等が急務だが、市民とのコンセンサスを得ながら、どのように整備計画を実施するつもりなのか。

3 消防団への加入促進について

消防団は地域の安全安心の中心として大変重要な役割を果たしていますが、全国的に消防団員数の減少、高齢化などさまざまな課題に直面しています。消防庁は、平成29年7月、「消防団等充実強化法」の施行を契機に、近年懸念される大規模災害への対応力や地域防災力の総合強化に向け、消防団への加入促進や団員の処遇改善等、一層の充実強化に取り組むよう、地方自治体に対して積極的な取り組みを求めています。そのことを通じて次の点について伺います。

- 公務員や大学生並びに女性等の消防団への加入・理解促進について
- 消防団の装備の集中的・計画的な配備について
- 経済団体や事業所への働きかけ及び消防団協力事業所に係る特例措置等の導入について
- 機能別団員制度等の活用について

○ 橋之口 裕太 (15分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 子ども家庭福祉のあり方について

本市における子ども家庭福祉のあり方、特に児童センターについて市の考えを伺います。

2 LGBT (性的少数者) 対応について

本市におけるLGBTを含む多様性のあるまちづくりについて市の考えを伺います。